

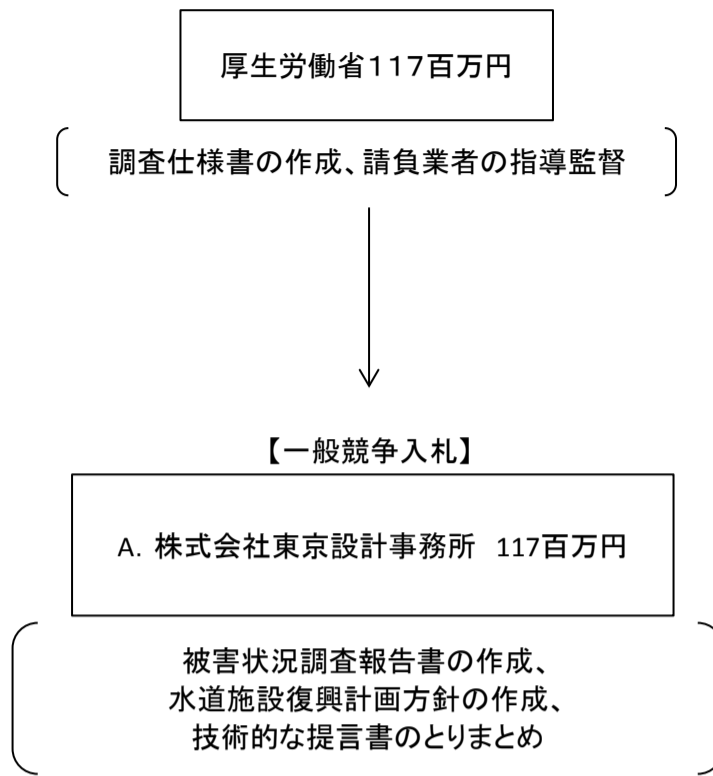
平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	水道施設整備事業調査費（復興関連事業）		担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～平成24年度		担当課室	水道課		水道課長 石飛博之		
会計区分	一般会計		施策名	IV 4 2 安全で質が高く災害に強い水道を確保する。				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—		関係する計画、 通知等	水道ビジョン				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	東日本大震災で被災した地域における水道施設の被害状況や水道関係者による対応状況を体系的に記録して、分析・考察を行い、大震災の教訓を踏まえ、被災地の一日も早い復興を支援するとともに、災害に強い水道施設の構築に向けた施策の見直しに反映させる。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	各地で被災した水道施設の被害状況、初動対応や連絡体制等について、関係自治体、水道事業者及び水道関係団体から情報収集し、報告書を作成するとともに、津波被害や液状化被害などの被害事例を教訓とした水道施設復興計画方針を作成し、有識者による災害に強い水道施設を構築するための提言書を取りまとめる。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	/	/	/	/	/	/
		補正予算	/	/	120	/	/	/
		繰越し等	/	/	△ 117	117	/	/
		計	/	/	3	117	/	/
	執行額	/	/	0	/	/	/	
	執行率 (%)	/	/	0%	/	/	/	
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		/	単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	東日本大震災を教訓として、災害に強い水道施設はどうあるべきかを取りまとめ、その考え方を水道ビジョン等の施策に反映させるものであり、数値で成果目標を定めることは出来ない。		成果実績	—	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—	/
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		/	単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	①被害状況調査報告書 ②水道施設復興計画 ③提言書作成		活動実績 (当初見込み)	①式 ②地域 ③式	— —	— (—)	①0 ②0 ③0 (①1②12③1)	— (①1②12③1)
			算出根拠	①H24執行予定額×直接人件費割合 ②H24執行予定額×直接人件費割合/地域数 ③H24執行予定額×直接人件費割合				
平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	水道施設整備事業調査費	—	/					
	計	—	/					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	大震災からの教訓を踏まえ、災害に強い水道施設の推進を図ることは広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	大震災からの教訓を踏まえ、災害に強い水道施設の推進を図ることは国が現行の施策を見直すために必要な調査である。
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	不用については、競争入札による入札差額によるものであり、予測は困難である。
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	当該契約は、一般競争により行い、競争性を確保するとともに、作業量を的確に把握し、効率性に留意して、適切な積算を実施した。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	適切な積算を実施し、コスト削減につとめた。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	本事業を実施することで安全で質が高く災害に強い水道が受益者(国民)に提供されることから、負担関係は妥当である。
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	成果物の発注過程において費目・使途を十分に把握できており、事業目的に真に必要なものに限定されている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	被災した全ての地域で水道施設の被害を詳細に調査し、被害事例をもとに今後の災害対策の進むべき方向性を示すことから、実効性の高い成果が得られる。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	×	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	平成23年度については震災の影響により繰り越すこととなった。
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	被災した全ての地域で水道施設の被害を詳細に調査し、被害事例をもとに今後の災害対策の進むべき方向性を示すことから、実効性の高い成果が得られる。
点検結果	<p>本調査は、被害状況調査報告書、水道施設復興計画方針をそれぞれ作成し、その成果をもとに災害に強い水道施設を構築するための技術的な提言書を取りまとめるものであり、今後、想定されている東海、東南海、南海地震等に備える上で、必要な事項を抽出するための重要な調査である。調査の実施にあたっては、昨年度、被害状況調査報告書を作成するため膨大な資料を収集して、体系的な整理を行っていたが、今年度は分析を加え、備えるべき対応策について検討を行っていく。一方、水道施設復興計画方針の作成では、対象地域を当初10地域から12地域に増加してモデル計画の作成やマニュアル作成などの作業を進めている。なお、提言書については、検討委員会を定期的開催(昨年度は1回)し、有識者からの貴重な意見を参考に取りまとめを行っていく。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
-			-
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			-
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	復興-50

※平成23年度契約済額を記載(全額繰越を行っているため、支出額は無い)



資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.株式会社東京設計事務所			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
直接人件費	人件費(経費含む)	111			
直接経費	交通費、事務費、印刷製本費	6			
計		117	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト
A.株式会社東京設計事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社東京設計事務所	東日本大震災水道施設被害状況調査	105	2	87.87%
2	株式会社東京設計事務所	東日本大震災水道施設被害状況調査(増額変更)	12	随意契約	99.91%
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					